

専修学校

鳥取県立農業大学校

Tottori Prefectural College of Agriculture

学校要覧



URL:<https://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>

沿革

- ◆昭和4年 財団法人山陰国民高等学校として開校。農村のリーダー的人材養成を目的に設置された。
- ◆昭和9年 県立修練農場として新発足。
- ◆昭和24年 県立経営伝習農場と改称。
- ◆昭和42年 県立農業経営大学校と改称。
- ◆昭和59年 県立農業大学校と改称。また、人事院規則の運用により卒業生は短大卒と同等の扱いとなった。
- ◆平成9年 教育施設を全面的に整備。
- ◆平成19年 専修学校として新発足。農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設であるとともに、学校教育法が規定する専修学校として位置づけられた。
- ◆平成20年 養成課程農業経営学科に5つの専攻コース（果樹、野菜、花き、作物、畜産）を設けた。また、研修課程に短期研修科を新設。
- ◆平成27年 アグリチャレンジ科（公共職業訓練）を開始。また、短期研修科を見直し、スキルアップ研修及び先進農家実践研修を開始。
- ◆平成30年 農業における食の安全、労働安全等を維持するための農業生産工程管理の国際水準であるGLOBALG.A.P.をカリキュラム化。



設置目的

次代の農業を担い、指導的役割を果たし得る人材を育成・確保し、及び農業者等の研修を行い、もって農業の振興に資するとともに、広く農業者等の生涯学習及び国際交流を推進する。

教育研修体系

本校には**養成課程**と**研修課程**の2つの課程があり、どちらも就農に向けた人材育成をしていきます。

養成課程

農業経営学科

- 2年の修業期間で生産から販売までの専門的な知識・技術を体系的に習得する
- 果樹、野菜、花き、作物、畜産の専攻コースを設ける
- 社会人特別入学制度あり

特徴

- 充実した施設により高度で先進的な農業技術を習得する
- 農業インターンシップ研修等により優れた農業技術と経営理念を学ぶ
- 外国の研修生との交流を通じ国際感覚を醸成する

概要

- 高等学校卒業あるいは同等の学力を有する方を対象
- 養成課程は専修学校で、卒業生は専門士の称号が与えられる
- 希望入寮制で学生寮に入寮可能

研修課程

スキルアップ研修

- 自営就農を目指す方を対象に、長期（1年間）・短期（4か月間）の実践研修により、就農に必要な知識と基本技術を習得する

特徴

- 目標とする農業経営を想定した研修の実施により、自らの技術向上を目指すとともに現場作業をとおして実践力を身につける

概要

- 自営就農の予定者または就農年数の浅い方で、経営基盤のある方を対象
- 研修者用宿泊施設の利用が可能

※この他、農業者や一般県民等を対象とした「農業研修」、公共職業訓練「アグリチャレンジ科」があります。（詳細は5頁）

2年間の課程で農業に関する生産から加工、販売までの専門的な知識・技術を体系的に習得します。

農業経営学科カリキュラムのポイント

1. 専攻コース制（果樹、野菜、花き、作物、畜産）で自分の希望するコースを選ぶ
2. 講義と実習の時間を同程度に配分したバランスの取れたカリキュラム
3. 先進農家で26日間研修を行い、農業の実際を学ぶ
4. 市場流通研修で、流通の実際を学ぶ
5. 直売所、修農祭における実習で、実践的に販売を体得
6. 充実した経営関係講義により、経営感覚を養う
7. プロジェクト学習により、課題解決能力を養う



教育棟

定員、募集方法

専攻コース	定員	募集方法
果樹・野菜・花き 作物・畜産	30名	推薦入学 一般入学 社会人特別入学*

*高校卒業あるいは同程度の学力のある方で、入学時(4月1日現在)65歳未満かつ2年以上の職歴があり、卒業後県内に就農する見込みのある方

学費等（年間）

区分	1年次・2年次とも
授業料(※)	111,600円
学習経費・各種会費ほか	約 90,000円
寮費(希望入寮制)	約 60,000円
合計	約 270,000円

・なお、入学時には入校料として別途5,500円(※)が必要です。
 (※印の授業料・入校料は改訂される場合あり)
 ・また、食費、農業インターンシップ、県外研修、健康診断等に要する経費は別途必要となります。

農業経営学科カリキュラム

区分/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1学年	午前 講義	農業全般基礎学習 栽培方法、土壌肥科学、農業機械、植物生理、病害虫、農薬等基礎的科目					専攻コース別基礎学習 園芸各論(果樹、野菜、花き)、作物学概論、畜産学概論等専攻コースごとの講義、実験、演習							
	午後 実習	基礎的栽培実習					プロジェクト学習							
2学年	午前 講義	専門学習(流通、販売、経営) 販売マーケティング、経営計画、情報処理、農業法人等農業経営に関する講義、演習				農業インターンシップ (26日間)	総括学習 ●卒業論文 ●農業経営計画							
	午後 実習	プロジェクト学習												

一般の方を対象とした聴講制度もあります。

果樹コース

永年作物である果樹の基本的栽培管理を習得しながら、経営感覚を養い、特に梨については新しい技術を学ぶことができる。

- 梨やブドウ等の新品種や新技術が導入された圃場で、今後有望視される最先端の栽培技術を学ぶ。
- 本県は日本有数の梨産地であることから、技術習得の場は多彩であり、校外で幅広く学習する。



梨の栄養診断



白ネギの調査

鳥取県特産のスイカ、白ネギ、ブロッコリー等を主体に、作型を組み合わせる1年間に複数品目栽培し、栽培知識、技術の習得を図る。また、特産以外の作物も栽培することにより実践力、経営感覚を養う。

- プロジェクト学習では一人が一圃場(露地・ハウス)を担当し、生産から出荷調製まで責任を持って行う。
- 県内の先進地視察や生産農家との交流を通じて、新技術や農業情勢を学ぶ。

野菜コース

花きコース

鳥取県の主要品目であるストック、シンテッポウユリ、花壇苗などの基礎的な栽培技術を学ぶ。また、新規品目や先進技術にも積極的に取り組む。

- 学生ごとに1品目以上を担当し、作りたい花を最初から最後まで責任と自信を持って栽培する。
- 研修会、展示会などに積極的に参加し、新技術や農業情勢を学ぶ。



シンテッポウユリの定植



可変施肥田植機を使った田植作業

水田の主要作物である水稲・大豆等について、基礎的な知識と管理技術を習得するとともに、水田営農における経営者・オペレータとして必要な栽培・経営技術を学ぶ。

- 水稲・大豆のほか、白ネギ・ブロッコリーなどの転作野菜の栽培にも取り組みながら、水田や水田転換畑の年間管理技術を学ぶ。
- トラクター、田植機、コンバイン、刈払機などの機械作業の基礎を実際に演習しながら、一から学ぶ。

作物コース

畜産コース

乳牛、和牛の基本的な飼養管理技術を習得するとともに、大型トラクターによる粗飼料の生産・収穫調製や自動化された搾乳など、先進的な畜産技術を学ぶ。

- 乳牛、和牛（繁殖及び肥育）、飼料作物の周年管理技術とトラクター、ローダー等の機械操作を学ぶ。
- プロジェクト学習を通じて科学的に飼養管理を学ぶ。
- 畜産共進会に出品し、技術向上や生産農家との交流を図る。



乳牛共進会への出品

授業風景



講義

主に午前中は座学で知識を吸収します。



現地視察研修

校内での実習以外に、先進的な農業者や研究施設を視察し、知識を深めます。



流通販売実習

学生が自ら育てた農産物を農大内外で対面販売し、好評を得ています。



大特・けん引免許

1年生全員が大特免許を、畜産専攻及び希望者がけん引免許を取得します(いずれも農耕車限定)。

校内行事



修農祭

販売実習であると同時に、地域の方に農業大学校を知ってもらう良い機会です。



スポーツ交流会

春はソフトボール等、秋は駅伝大会等でスポーツ交流しています。



スキー教室

大山スキー場にてスキー、スノーボードで鳥取の冬を満喫します。



研修旅行

市場流通の実態を知るため、2年生では研修旅行があります。

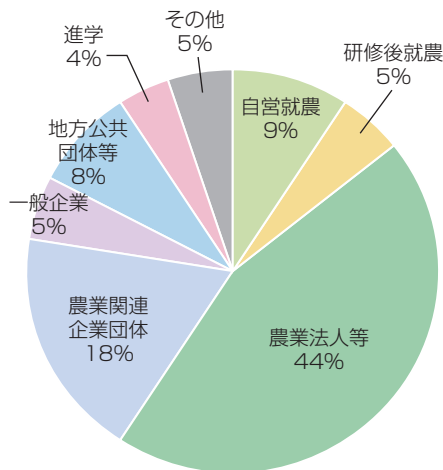
進路資格等

卒業後の進路は、すぐに就農（自家の農業を継いだり農業法人等に就職）する人、あるいは進学や先進農家等での研修後に就農を目指す人、また、農協などの農業団体や農業機械などの農業関連企業に就職する人など様々ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

なお、本校では、無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。

卒業生の進路状況

令和元年度～令和5年度：98名



令和5年度卒業生の進路：就農＋農業関連企業・団体就職率：86%

資格・特典

- 本校養成課程の卒業生は、人事院規則及び鳥取県人事委員会則に定める「短大2卒」の資格に準じて取り扱われる。
- 本校養成課程は専修学校となっているので、次の3つの特典がある。
 - 卒業生は4年制大学の3年次編入試験を受験することができる。
 - 卒業生に「専門士」の称号が与えられる。
 - 日本学生支援機構等の奨学金を受けることができる。
- 本校を卒業後1年以内に独立・自営就農または雇用就農する場合は、在学中に就農準備資金の交付を受けることができる。
- 在学中に、以下の資格試験等を受験・受講することができる。
 - 大型特殊自動車運転免許及びけん引免許（農耕車に限る）
 - 日本農業技術検定
 - 家畜人工授精師免許
 - 食の6次産業化プロデューサー（レベル1・2）
 - フォークリフト運転技能
 - 玉掛技能
 - 小型移動式クレーン運転技能
 - 2級ボイラー一技士免許
 - ガス溶接技能及びアーク溶接特別教育
 - 小型車両系建設機械運転特別教育
 - 危険物取扱者免許
 - 毒物劇物取扱者免許
 - 日商簿記検定 3級

注）①～④は校内で試験・受講、⑤～⑬は校外で実施される講習等に出席し、試験に合格することが必要となります（講習会及び試験の出席は公休の扱い）。

頑張っています!! 卒業生の声

本校は昭和4年に開校し、長年にわたり農業人材の育成に取り組んでいます。卒業生は県内外で自営農業や農業関係団体・法人などで活躍し、鳥取県の農業発展に様々な形で貢献しています。

大栄西瓜を継承します

坂田 統和 (H30 野菜卒)



実家は北栄町で、100年続く「大栄西瓜」を栽培しています。幼い頃から祖父母や両親の姿を見て自然と農業を継ぐことを決め、農大では色々な野菜を学ぶことが出来ました。卒業後、すぐに親元就農しましたが、まだまだ勉強中です。ちなみに西瓜づくりは自分で5代目となるようです。これからも魅力ある「大栄西瓜」を作り続けます。

スマート農機を中山間地農業に活かします!

馬田 雄大 (R4 作物卒)



私は卒業後、地元大山町で親元就農をしました。現在は、主に水稻・大豆を作付けしています。今後は、規模拡大はもちろんですが、多角化戦略としてドローンによる農業・肥料散布を行うドローン事業や地元農家の生産や販売面の相談事にも対応し、地域農業の維持に向けて力になりたいと考えています。地域の核となる農業生産組織を目指し、前進中です!

花回廊で花の魅力発信中

足立 花 (H22 花き卒(右側))
山本 瑞稀 (H30 花き卒(左側))



とっとり花回廊の園芸部スタッフとして、自然や植物の美しさに触れながら楽しく仕事をしています。一年を通して、様々な植物の育成や管理に携わり、日々植物の奥深さとやりがいを感じています。学校で学んだ知識や技術を基礎に、夏の暑さや、冬の寒さに負けず頑張ります!

ジョイント栽培を経営の柱に

東地 海也 (H30 果樹卒)



卒業後、2年間の研修を経て、令和3年に、父親と叔父が経営している果樹園の近くで独立自営就農をしました。経営の柱は「新甘泉」のジョイント網掛け無袋栽培で、作業の省力化を図りながら面積拡大していく予定です。日々勉強ですが、父親や叔父に追いつけるよう頑張ります。

和牛で独立自営就農

生田 智之 (H30 畜産卒)



卒業後1年間、畜産試験場で和牛繁殖技術を学んでから、令和2年4月に和牛繁殖で新規就農しました。親牛となる雌牛は良い血統が多いのですが、飼養管理が難しく、毎日が勉強です。また、日々の作業に加え、親牛の採卵や種付け、移植等のスケジュール調整も行いながら、発育の良い鳥取和牛を生産できるように頑張ります。

作業受託会社で農家を応援

日野 楼士 (R2 野菜卒)



卒業後、JA関連の作業受託会社に就職しました。鳥取市、米子市で耕耘、代掻き、田植え、防除など稲作に関する作業を引き受けています。徐々に任せてもらえる作業も増えてきましたが、上司や様々な農家さんから作業の方法や考え方を学び、自分に合った効率の良いやり方を日々模索しながら頑張っています。

研修課程 実践研修

社会人等で新たに就農を希望する方を対象に、必要な知識と基本技術・実践技術を習得していただく「スキルアップ研修」の長期研修(1年間)、野菜品目別短期研修(4か月間)の2種類の研修を実施しています。

研修名	開講時期及び定員	専攻	主な内容
スキルアップ研修 (長期研修)	4月 10月 2期合計 15名程度 ※果樹は10月開講のみ	果樹 野菜 花き 作物 畜産	<p>★栽培実習を中心とした実践研修で、栽培や農業経営の知識及び技術の習得を目指します。</p> <p>★研修期間中に将来の経営計画を完成します。</p> <p>①実習に講義を組み合わせた体系的なカリキュラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●原則、野菜または花き専攻の実習は、希望作物の栽培管理を個別に担当し、その他の専攻ではグループ形式で実習します。 ●養成課程の講義も自由に受講可能で、先進農家視察等の現場研修も実施します。 <p>②就業経験があり、鳥取県内での就農(自営を始める、後継者として親の経営を継ぐ、農業法人等に就職するなど)予定または就農年数の浅い50歳未満の方を対象とします。</p> <p>③受講料が必要です(年間111,600円)。</p> <p>④研修期間は1年間です。</p>
スキルアップ研修 (短期研修)	4月 6月 7月 9月 3月 各期 5名程度	野菜	<p>★鳥取県内で栽培される主要な野菜品目(白ネギ、ブロッコリー、スイカ、ミニトマト)について、品目別に実施する基礎研修です。</p> <p>★グループ実習により、植付準備から収穫までの一連の栽培管理作業を経験できます。</p> <p>★各品目の特性、防除や施肥等に関する基礎知識習得のための座学講義が受講できます。</p> <p>①各期の研修品目は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4・9月開講：白ネギ ●6月開講：ミニトマト ●7月開講：ブロッコリー ●3月開講：スイカ、ミニトマト <p>②鳥取県内での就農(自営を始める、後継者として親の経営を継ぐ、農業法人等に就職するなど)予定または就農年数の浅い65歳未満の方を対象とします。</p> <p>③受講料が必要です(40,000円)。</p> <p>④研修期間は4か月間です。</p>



栽培技術の実習(専攻:果樹)



栽培技術の実習(専攻:野菜)



機械操作の実習

アグリチャレンジ科

農業の基礎知識と実践に活かせる基本技能を中心に学ぶ「公共職業訓練」です。

開講時期及び定員	カリキュラムの内容
6月 10月 2月 各期 25名	<p>①座学講義(鳥取県農業の概要、植物生理、病害虫の基礎、農業の基礎、肥料の基礎、土壌の基礎、鳥獣害対策、作物栽培、有機・特別栽培、畜産概論、農業経営、農業気象、体のメンテナンス方法、各種支援策等)</p> <p>②技能演習</p> <p>ア 機械関連 トラクターの操作と耕耘、作業機の脱着とロータリー爪交換の方法、刈払機の取扱い、管理機の取扱い、フォークリフトの操作、農業機械全般の保守点検方法</p> <p>イ 小農具の扱い方 スコップ・鍬・レーキ等の使い方</p> <p>ウ 肥料・薬剤散布のポイント 肥料の手散布の方法、農薬の薬剤量と散布量、散布用機械の取扱い</p> <p>エ 応用作業 ロープワーク、木工、刃研ぎ、定規縄作り、針金の扱い、パイプハウス測量・組立・被覆・解体、フラワーネットの設置・解体、かん水チューブの設置</p>



※受講料は無料です。研修期間は約4か月間です。
 ※入校願書の提出先はハローワークですが、研修内容の問合せ先は農業大学校です。
 ※訓練内容は変更になる場合があります。

幅広い県民のニーズに応えるため、農業者を対象としたより高度な研修、園児・学生を対象とした農業体験研修、国際交流研修等、様々な研修を行っています。

研修の種類	対象者	実施時期	研修の内容・特徴
就農サポート研修	大型トラクター安全運転研修	・アグリスタート研修、市町村等の農業研修生	7月 大型特殊免許（農耕車限定）取得のための演習
	トラクターけん引安全運転研修	・就業後5年以内の新規就農者（親元就農者含む） ・農業法人等の従業員	11月 安全なけん引路上走行の運転操作技術の習得、けん引免許取得のための講習
	農作業安全操作研修等	・市町村等の農業研修生	要相談 鳥取県農業経営・就農支援センターと連携した農作業の安全性向上等のための講習（10月初 or 2月初）
就農体験研修	・就農を検討している方	随時	就農を検討している方に農作業体験の場を提供
農業体験研修	・一般県民の方	随時	収穫などの農業体験の機会を提供
食の6次産業化プロデューサー育成講座	・6次産業化志向農業者 ・農業高校生	7月、10月	6次産業化事業に携わり、商品開発、地域の活性化に貢献するリーダー等の人材育成を目的とした国家戦略・プロフェッショナル検定の育成研修
国際農業技術研修	・モンゴル中央県研修生等		日本及び鳥取県の農業技術習得のための実習、視察対応等

頑張っています!! 研修修了者の声

美味しい西瓜を作ります!

北濱 翔大 (R4 スキルアップ(短期研修)修了)



スイカ栽培の基礎を学ぶため受講しました。栽培の知識が全くない状態でしたので、スイカの生理生態や栽培管理作業を学びました。研修生だけでハウス1棟を担当し、定植から収穫まで経験するなど充実した4か月を過ごす事ができました。また、講義では農薬や肥料についても学び、知識が身につきました。今後は、少しでも早く父の栽培技術に追いつき、美味しいスイカを作りたいです。

家族で楽しく梨経営を実践!

三ツ田 達彦 (R4 スキルアップ(長期研修)修了)



家の梨の手伝いをしていましたが、技術を体系的に教わるために受講しました。農大で作業の目的や手順を学ぶことで、正確かつスピーディに行う意識が高まりました。また、同じコースの研修生と、農業への熱い思いを語り合ったり、意見や情報を交わす貴重な機会を得ることができました。今は、両親と3人で梨を作っていますが、将来は、経営を引き継ぎ、家族で協力して末永く梨づくりを行っていきたいです。

雇用就農で充実のライフワーク!

坂口 一樹 (R2 アグリチャレンジ科修了)



農業に興味を持ち始めたのは、妻の出産を機に、自分の周囲の環境や子どもと過ごす時間を改めて考えたからでした。アグリチャレンジ科では農業の基本的な技術や知識を学び、花壇苗を生産している北栄町の農業法人に就職しました。今は、家族と花や野菜を育てる時間も持て充実しています。今後は、会社の花壇苗を手にした人の生活が華やかになるような仕事をしていきたいです。

充実した施設

どの施設も明るく開放的な空間です。自然豊かな、最高の環境のもとで勉強することができます。

大教室



交流ホール



体育館



図書コーナー



食堂



円形広場



学生寮(個室、希望入寮制)



研修用宿泊施設



農業大学校 本館全景



学生寮(女子)

学生寮(男子)

食堂

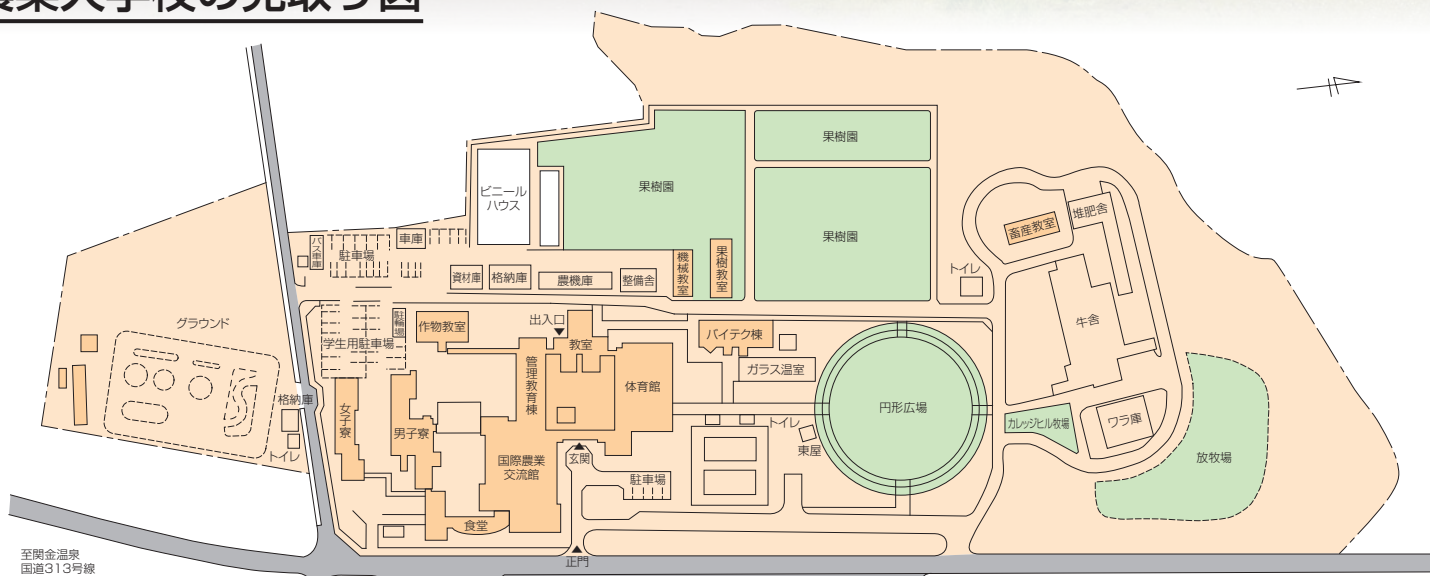
国際農業交流館

シンボルタワー

体育館

管理教育棟

農業大学校の見取り図



至関金温泉
国道313号線

至琴浦町

敷地面積		栽培面積・飼養頭数	
178,971㎡		※令和4年度現在	
主な施設		果樹：ナシ	62a
管理教育棟		カキ	11a
学生寮(男子寮)		ブドウ	11a
学生寮(女子寮)		リンゴ	7a
食堂		野菜：ガラス温室	428㎡
体育館		フィルム温室	350㎡
国際農業交流館		ビニールハウス	1,550㎡
農業機械関係施設		露地畑	38a
野菜・花き関係施設		花き：ガラス温室	340㎡
畜産関係施設		ビニールハウス	1,005㎡
バイオテクノロジー棟		作物：水稲	179a
温室		畜産：乳用牛	20頭
果樹現場教室		肉用牛	20頭
機械現場教室		飼料畑	525a
ガラス室・育苗ハウス等		研修：ビニールハウス	930㎡
農業学習館		露地畑	28a
牛舎・放牧場			
トラクター練習コース			
グラウンド			
円形広場			

農業大学校略図



交通案内

JR倉吉駅から関金行・明高行バスに乗車
関金バスセンター下車、徒歩20分
関金温泉下車、タクシー3分

鳥取県立農業大学校

〒682-0402

鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238

電話 (0858) 45-2411

ファクシミリ (0858) 45-2412

E-mail : nogyodaigaku@pref.tottori.lg.jp

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>



(令和6年10月版)